



Contents

- 活動報告
- 一時託児サービスを利用してvol.I (神原准教授)
- スタートアップ研究費を受給して vol.I0 (磯谷准教授) vol.II (高田助教)
- プラスα保育の使いかたのご案内
- 新規図書を購入
- 本学の男女共同参画に関するデータ

News Letter

ニュースレター

活動報告

2018年3月～2018年5月

2018年3月14日

産学官連携 ウィメンズイノベーションフェアに参加

大阪産業創造館 (大阪府大阪市)にて開催された平成29年度産学官連携ウィメンズイノベーションフェア「イノベーション 創造の新しい形～女性研究者が切り拓く未来～」(主催:大阪市立大学等)に連携協力機関として参加しました。



2018年5月19日

オープンキャンパスに参加しました

各研究棟受付にて、女子大学院生の研究生生活紹介webページ(下記)にアクセスできるQRコードを付した案内チラシを配布しました。同ページには、2018年3月～5月の約3ヶ月間に、約1700人の方のアクセスがありました。



<http://www.naist.jp/gender/contents/message/student/index.html>



そして、オープンキャンパスの運営に携わる教職員・学生を対象に、大学敷地内にある一時託児室「託児室せんたん」で託児を実施しました。お預かりした8名の子どもたちは、プラレールやおままごとをして、楽しく過ごしました。

2018年4月5日～

大学会館1階に休憩室を設置

乳幼児のいる教職員、学生向けの休憩室を設置しました。妊娠中や乳幼児の育児中の休養、授乳、搾乳、おむつ替え等のスペースとして、ぜひご利用下さい(男女利用可)。

搾乳とは？ 母乳育児中の場合、通常勤務中も1～3回程度母乳を搾って出すことが必要です。そのままにしておくとう乳腺炎で高熱が出たり、母乳が出なくなったりしてしまいます。



利用時間
 月～金曜日 10:00～21:00
 土曜日 10:00～15:00

2018年5月24日

第10回けいはんな女性研究者 ネットワーク茶話会を実施

研究やワークライフバランスに関する情報交換をしながら、交流を深めることを目的とした茶話会の第10回目を開催しました。今回は日経ウーマノミクス・プロジェクト「女性研究者キャリアカフェ」とのコラボ企画として実施しました。当日は、けいはんな地区の研究機関や企業に勤める研究者・技術者ら27名(+子ども9名)の参加がありました。



2018年3月13日

ランチミーティングを開催しました

教員や各部署の職員が参加し、ワークライフバランスや男女共同参画室の活動などに関する意見交換、情報交換をしました。

Interview

Childcare Service

一時託児サービス を利用して vol.1

情報科学領域
環境知能学(萩田研)

神原 誠之 准教授



何かあってもすぐに迎えに行けるので 安心して預けられる

私には小学校6年生、5年生、1年生の3人の子どもがいますが、一番上の子が3歳だった2010年頃から現在まで、オープンキャンパスのために出勤する日は一時託児サービスを利用しています。はじめは、全学配信のメールで本サービスについて知りました。妻は仕事をしておらず自宅で世話ができる状況ではあったのですが、上の子が3歳で下の子が2歳という子育てで一番たいへんな時期で、平日も休日も妻には一人になる時間がほとんどなかったこともあり、妻のリフレッシュも兼ねて利用させていただきました。



託児室「せんたん」の様子



職員宿舎に住んでいるので、託児室「せんたん」にも近く、預けている当日に何かあってもすぐに迎えにいけるという面で安心でした。近年利用者が減っているのは、宿舎に住む子ども自体が減っていることも理由かもしれません。7,8年前までは20人近くいましたが、最近は一桁になり、逆に留学生のお子さんの比率が増えていますね。教職員も留学生も、小さな子どものいる人はぜひ一時託児サービスを利用されたらよいと思います。

WEBサイト
「それぞれの働き方」
vol.14もチェック!

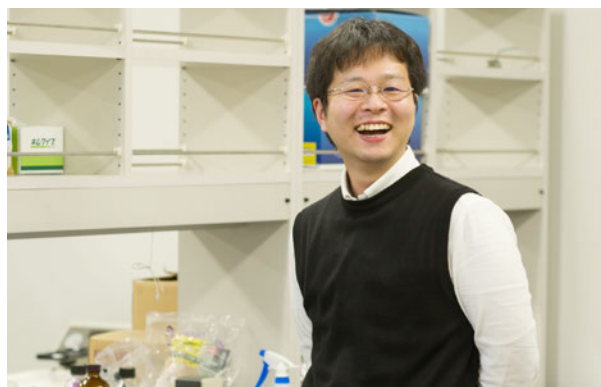
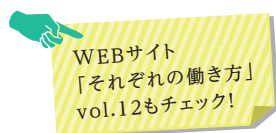
vol.10

バイオサイエンス領域 器官発生工学(磯谷研)

磯谷 綾子 准教授

私は2016年8月に准教授として本学に着任しましたが、スタートアップ研究費に加えて研究科長経費もいただき、研究室の立ち上げに関しては大学より大きなサポートをいただけたと思います。既に取得していた科研費の制約もあり、科研費や助成金の獲得が難しかったのですが、本助成のように何の条件もなく使える研究費の存在はたいへん有り難かったです。

本研究費は、新しい実験を始めるためのセットアップ機器や動物等の購入に利用しました。私は本学の動物実験施設の管理も任されているのですが、本助成によるサポートもあって、現在は私のもっているテクニックをほぼ使える状態にまで整備することができました。



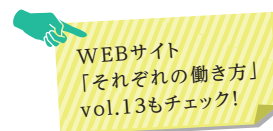
vol.11

バイオサイエンス領域 幹細胞工学(栗崎研)

高田 仁実 助教

私は、2017年4月に本学に着任しました。着任当初は、産業技術総合研究所(産総研)からいっしょに異動した栗崎先生と研究室をゼロから立ち上げなければいけなかったため、本制度による助成はたいへん有り難かったです。私の研究テーマは細胞の培養が実験のベースとなるのですが、細胞の培養に必要なタンパク質はとても高価で、今回いただいた研究費をその購入経費として使わせていただけたことも助かりました。

本制度への意見ですが、科研費の運用ルールのように助成期間が最長2年であれば、なおよいと思います。とくに私の場合は、着任後のおよそ4ヶ月間は研究室の立ち上げしかできなかったため、ある程度落ち着いた頃にも使えるよう余った分を来年度にプールできればと思いました。また、研究の立ち上げ時期は、女性男性関係なくスタートアップ研究費を使えるとよいと思います。



男女共同参画室WEBサイトで連載中

本学で活躍する研究者へのインタビュー「それぞれの働き方」

http://www.naist.jp/gender/contents/message/interview_list.html



Information

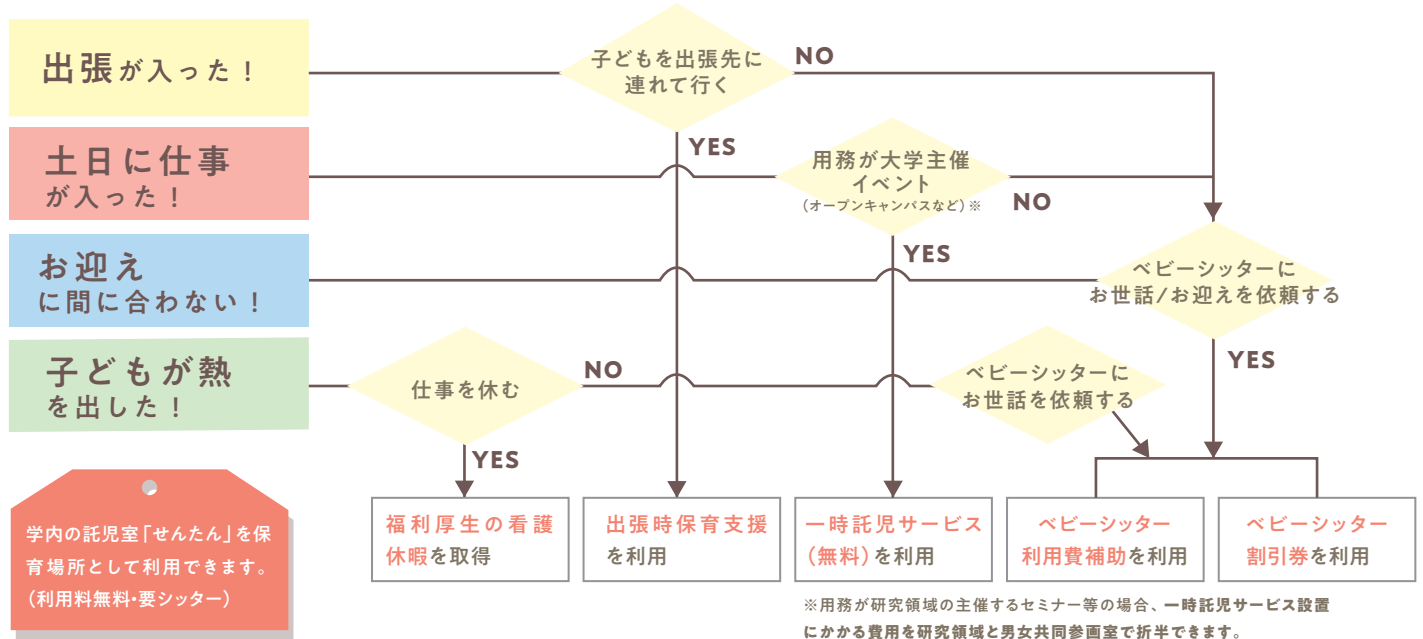
男女共同参画室は、利用者の活躍に支えられ、本学構成員の仕事と生活の両立を支援する各種制度の充実に、多角的に取り組んでいます。

プラスα保育の使い方

本学が2009年から実施している両立支援“プラスα保育”は、夜間や休日、病気回復時など、通常の保育サービス(保育所・学童保育)ではカバーできない部分の育児支援を行っています。

小さなお子さまのいる教職員の方々は、男女関わらず以下のフローチャートの場面例と条件に応じて利用できます(ここに示した支援内容は一例です)。

詳細は次のURLをご覧ください。 http://www.naist.jp/gender/contents/gender/supportchild_care_plus/



新規図書を購入



ジェンダー、子育て、介護、LGBT、ワークライフバランス等に関する図書を新規に購入しました。貸し出し可能です。興味のある方は、参画室にお越しください。

詳細は以下のURLをご覧ください。
http://www.naist.jp/gender/contents/gender/office_library/

2018年5月現在

数字で見る

男女共同参画

- 研究科別の女性教員率
情報4.2%、バイオ14.1%、物質8.3%
- 女子学生の在籍割合
情報11.2%、バイオ37.2%、物質20.6%

